

堤防の利活用について（令和４年度の協議結果）

１．令和４年度・勉強会における意見の整理

種別	第１回勉強会（８月２５日・２６日）	第２回勉強会（１０月２７日）	第３回勉強会（１月１８日）	第４回勉強会（３月１４日）	導入が考えられる施設
基盤	・上下水道		・堤防天端の水場（上下水道）		・上下水道 ・駐車スペース（堤防天端） ・トイレ（夜間施錠管理） ・電源・照明
	・駐車場（かわまち計画対象地外）		・駐車場（堤防天端以外）	・隣接地でのイベント時のみの駐車場利用	
			・トイレ（夜間施錠）		
	・ライトアップ・照明・電源				
地域利用	・地元の憩いの場として利用 ・広場、アズマヤの整備				・アズマヤ、ベンチ（憩いの場） ・どろいんきょのころがし場・地域紹介看板（舟運、どろいんきょ、地域発展史等）
			・どろいんきょのころがし		
防災		・電が降ったときのシェルター（堤防下部の空洞）	・シェルター（堤防下のボックスカルバート+扉）	・避難所	・防災倉庫（電等発生時の避難場活用兼用） ・倉庫（緊急物資貯蔵庫・イベント用品保管場）
			・緊急物資の貯蔵場所	・防災倉庫	
水辺利用	・水面の利用 ・船着場跡地であることを活かした整備、看板設置		・カヌーや小型船の栈橋 ・水辺のイベント ・川との繋がり・川の利用		・小型栈橋（カヌー等発着、水辺のイベント時の利用）
サイクリスト利用	・サイクルステーション		・天端の自転車利用	・天端の自転車利用（歩車ゾーン分け）	・サイクルステーション ・路面標示・まちなか誘導表示・サイクリスト注意看板
			・サイクリストへの注意喚起（速度・マナー等）		
飲食物販等	・農産物直売所 ・堤防上の事業者向けの貸出店舗（市が建築し、貸し出す）	・店舗（イベント時の仮設） （直売所→考えるならば JA 等に話すべき）			・店舗建屋（貸し出し用店舗） ・キッチンカー（展開スペース）
	・キッチンカーの出店				
イベント利用	・花火の観覧席				（階段護岸・ベンチ）
緑化・みどり	・堤防への植栽			・堤防に緑を入れる	
その他	・星が見える夜間の利用 ・開平橋から堤防につながる階段の整備 ・ランニングステーション（常時利用のほか、上尾ハーフシティマラソン時の活用）				・イベントスペース（焚き火、星の観察）
まちとの連携		・平方地区から丸山公園までの遊歩道	・築堤後の道路ルート（整備前の既存道路の機能の確保）	・堤防とまちの融合	
整備条件等			・開平橋下流から西野橋上流部までの築堤の連続性 ・管理のことを考えた整備	・堤防天端での車両通行の制限 ・市・地域が赤字とならない運営 ・側道を広げる	

2. 堤防等の利活用方策

・勉強会時の意見より、堤防等の利活用方法は次のように整理できる。

○地域の利用	
①地域の歴史の伝承と地域の憩いの場としての利用	②防災活動
<ul style="list-style-type: none">・地域の歴史の伝承の場としての利用（平方河岸や地域の発展史、旧街並み、築堤前の地域の状況等＝歴史広場・看板設置、屋外レクチャー等）・どろいんきょの「ころがし」や「川入り」等の利用・周辺住民が川を見ながら集い・憩う（場づくり）	<ul style="list-style-type: none">・消防訓練・市民らによる防災訓練・防災体験

○来訪者等の利用（イベント等）		
③イベントの展開	④屋外レクリエーション活動	⑤親水利用
<ul style="list-style-type: none">・あげお花火大会の観覧利用・地域の人が集う地域イベント（「市」、農産物直売等）の開催・集客イベントの展開	<ul style="list-style-type: none">・夜間の暗さを活かした天体観測や焚火等、アウトドア活動（丸山公園天文台の協力連携等）	<ul style="list-style-type: none">・水辺への近づき・水上レクリエーション（カヌー等）

○広域利用者の立寄・発着地としての活用		
⑥サイクリング利用（立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導）	⑦歴史をテーマとした散策利用（広域連携利用）	⑧上尾丸山公園（総合公園）との連携
<ul style="list-style-type: none">・サイクリング利用者の立ち寄り利用の促進（休息、飲食、メンテナンス）（立ち寄り利用による交流・地域活性化や、自転車減速による散策者の安全確保）・市のサイクリングコース等を活用したまちなか「散走」への誘導・自転車を活用した市内の歴史地点（寺社仏閣・史跡等）や街道等を巡る「散走」への誘導	<ul style="list-style-type: none">・地域の歴史（河岸、寺社、地域銀行や工場跡地等）を巡る歴史散歩・中山道や伝鎌倉街道等の街道筋をたどる広域歴史散歩・散走	<ul style="list-style-type: none">・堤防天端等を活用した散策・自転車ネットワーク利用・自然学習館、天文台等職員と連携した荒川の自然観察会

3. 堤防等の利活用を実現する施設整備

・利活用（ソフト施策）を支える次のような施設整備が考えられる。

種別	利活用	求められる施設整備
地域の利用	①地域の歴史の伝承と地域の憩いの場としての利用	<ul style="list-style-type: none">・広場（どろいんきょ・ころがし場）・水道（ころがし場への水提供）・地域説明看板・案内看板・アズマヤ・ベンチ・トイレ・上下水道・照明
	②防災活動	<ul style="list-style-type: none">・堤防坂路・堤防部の階段・親水護岸・階段護岸・防災倉庫（雹等避難場兼用）
来訪者等の利用（イベント等）	③イベントの展開	<ul style="list-style-type: none">・広場（側帯）・植栽・建屋（ユニットハウス等）・倉庫（防災倉庫兼用）・照明・アズマヤ・ベンチ・トイレ・上下水道・照明
	⑤屋外レクリエーション活動	<ul style="list-style-type: none">・広場（側帯）・植栽・トイレ・上下水道・照明・アズマヤ・ベンチ
	⑥親水利用	<ul style="list-style-type: none">・親水護岸・階段護岸
広域利用者の立寄・発着地としての活用	⑦サイクリング利用（立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導）	<ul style="list-style-type: none">・サイクルステーション・トイレ・上下水道・アズマヤ・ベンチ・誘導表示板・地図看板
	④歴史をテーマとした散策利用（広域連携利用）	<ul style="list-style-type: none">・地域説明看板・案内看板・誘導表示板・地図看板
	⑧上尾丸山公園（総合公園）との連携	<ul style="list-style-type: none">・誘導表示板

- ・堤防への坂路、階段等について勉強会の議論より、下図のように整理された。
- ・堤防の利活用については、「側帯」や堤防天端の通路を活用して行うこととなった。

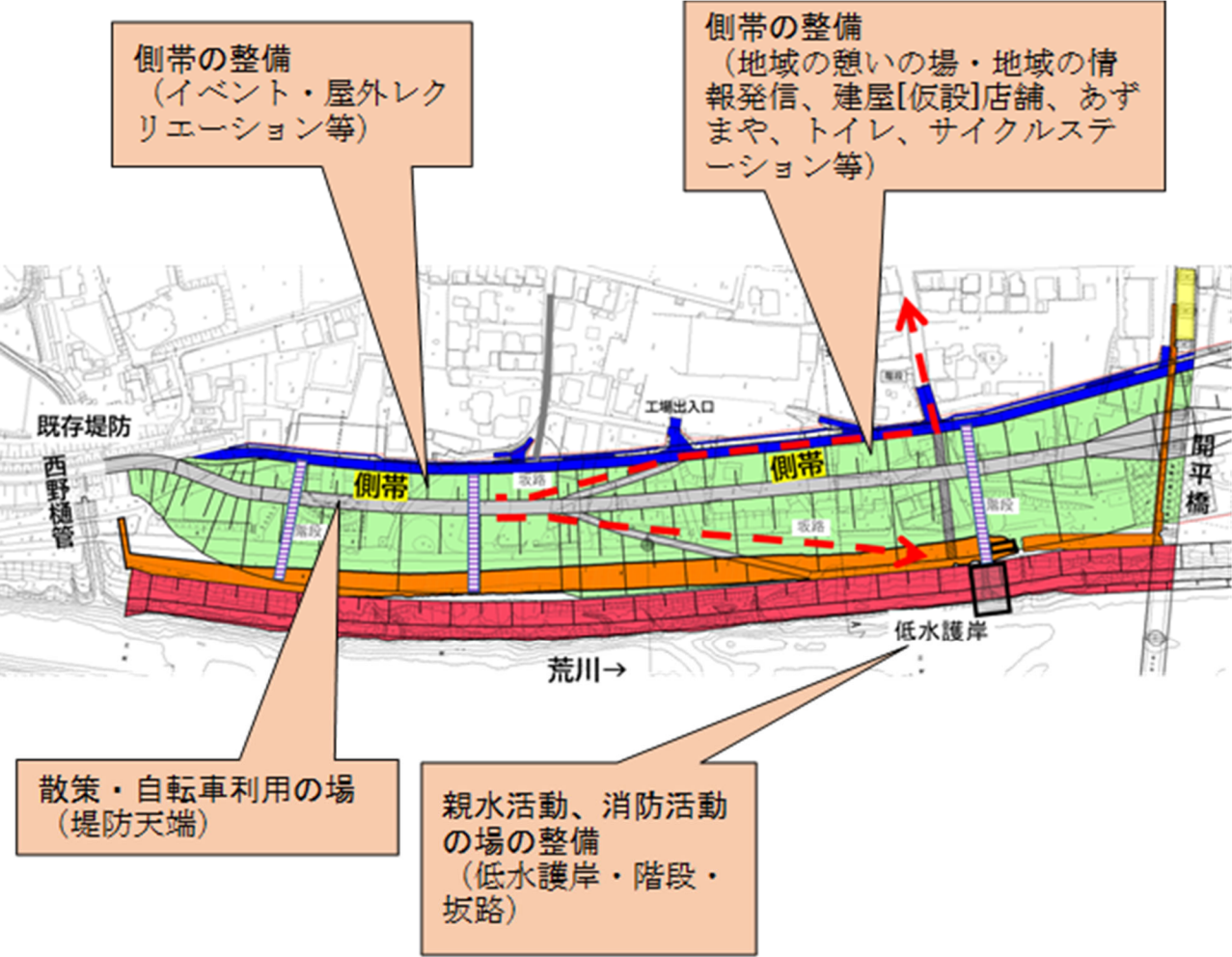


図 1 堤防の坂路・階段の位置及び側帯・堤防天端の利活用について

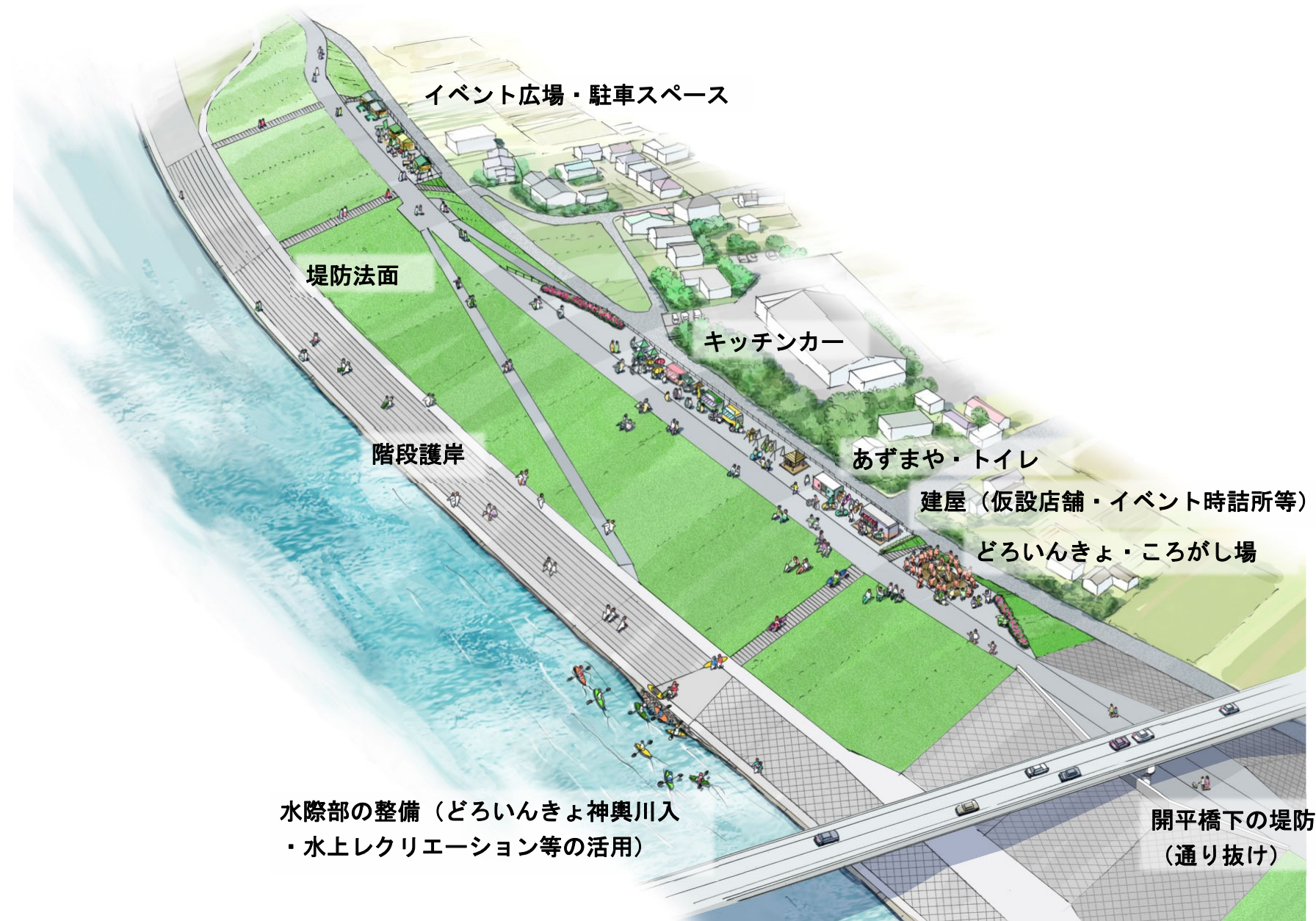


図2 堤防側帯・天端等の利活用イメージ